



# 学力調査結果

# 学習意欲の向上をめざして

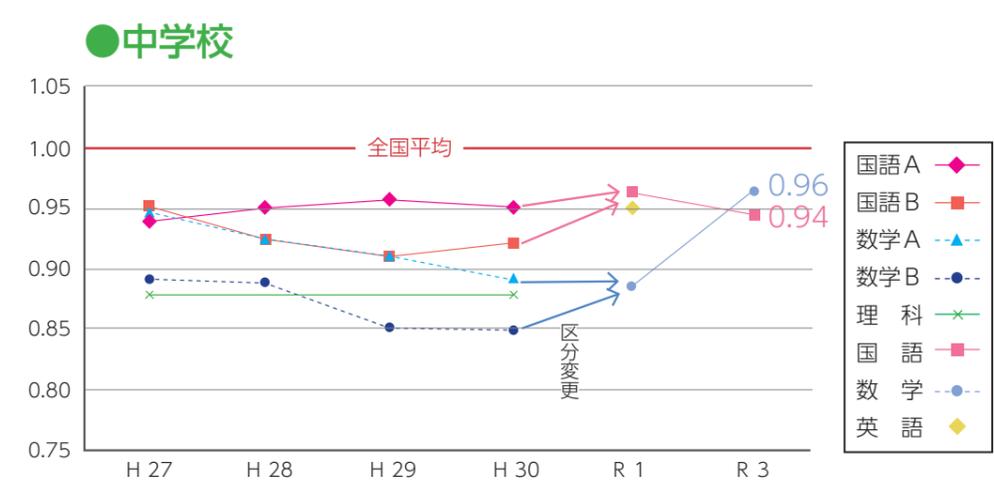
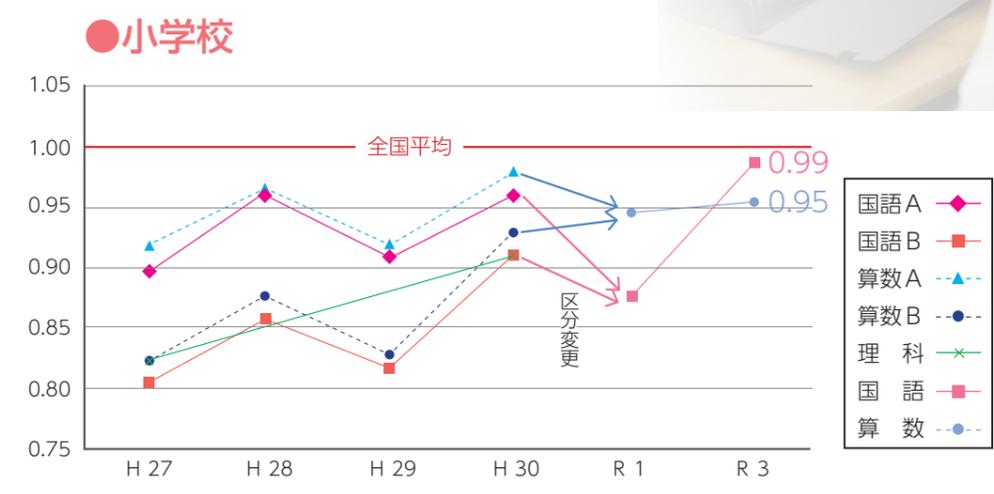
令和3年度における、本市の「全国学力・学習状況調査」の結果や市内の小中学校で行っている、学力を向上させることはもちろん、学習意欲を中心としたすべての意欲を向上させるさまざまな取り組みを紹介いたします。

問合せ 学校教育課へ



## 全国学力・学習状況調査結果 ～対全国平均比経年比較～

令和3年度、小学6年生では国語が、中学3年生では数学が過去最高の結果となりました（折れ線グラフ）。また、全国平均には到達していないものの、大阪府平均を上回っている科目もあり（平均正答率の表）、全体として年々学力が向上している結果となりました。



## 平均正答率

教科	令和3年度				
	摂津市	大阪府	全国	対全国比	
小学校	国語	64	63	64.7	0.99
	算数	67	70	70.2	0.95
中学校	国語	61	62	64.6	0.94
	数学	55	56	57.2	0.96

※対全国平均比は、全国平均の数値を1とした場合の摂津市の値です。  
 ※令和元年度調査より、従来のA問題・B問題という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題に変更されました。

## 日々の授業改善が学力向上に

本市では全小中学校で授業を公開し、他校の先生方から意見をいただくことで、授業力の向上を図る研究発表会や公開授業に取り組んでいます。

また、校内の先生同士が互いの授業を見合い、改善点などを意見交換する「相互授業参観」に取り組み、日々の授業改善に努めています。

本市の各学校は、本当によく頑張っており、全国で10校ある文部科学省指定のデジタル教科書モデル校（POINT①）が1校、スマートスクール実現モデル校が2校あり（小中学校共に選定されている市は本市のみ）、国や府から評価されているところとあります。



河平 教育総務部参事兼学校教育課長

たちの学力向上に繋がったと考えています。

## 学校を教員や子どもたちが主体的に学べる組織に

学校には求められることがたくさんあります。そのため、どんな事を中心に取組めばよいか、学校が悩んでしまうことも考えられます。

そこで、教育委員会として「めざす学校の姿」として、重点的に取組む内容を4つに絞り、「もっとみんなとがんばりたい！もっと知りたい！学びたい！」をテーマに、統一した指導方針を示しました（POINT②）。

それを受け、各学校で実施している学校づくりの取組みが、より一層子どもたちの自主性を育む内容へと工夫され、変化してきました。そして、各学校の取組みが、市内の全学校と共有されることで、更に良いものとなっていくといった良い循環が生まれました。

## 「摂津で良かった」

保護者や地域の方々の中には「摂津市の学力は低い」と思われている方が少なからずいたのではないのでしょうか。しかし、今は違います。

全小中学校で授業改善を中心

## POINT ① デジタル教科書の実証研究を文部科学省が別府小学校で実施

別府小学校は、文部科学省が実施するデジタル教科書に関する実証研究の対象校に選ばれています。対象校は、全国から小学校5校・中学校5校が選ばれており、生活科と理科のデジタル教科書の使用による効果・影響に関する実証研究を行っています。

デジタル教科書の活用を含め、ICT機器を効果的に使用した、主体的・対話的で深い学びが行われています。



別府小学校での取り組みは、事例集や研修動画としてまとめられ、全国に活用事例として紹介されます。

とした学力向上の取組みやICT機器の効果的な活用が、組織に行われ、近隣市より視察依頼があるなど、注目され始めています。（POINT③）

保護者の皆さんに「摂津で良かった」と思ってもらえるよう、教育を盛り上げて行けたらと思います。授業の様子をYouTubeで配信しています。教育フォーラムでも本市の取組み内容をお伝えします。ぜひご覧ください。

## POINT ③ 学校では一人1台のタブレット

本市はタブレットやプロジェクターなど、最先端の設備を導入しています。また、生徒にタブレットは当たり前のものと感じてもらえるよう、学校にいる間は、常に一人1台持ち歩くようにしている学校もあります。

なお、情報モラルの授業も徹底しており、これから益々増えるICT機器との関わり方を、子どもたち自身が考えることができるよう工夫を凝らした授業を行っています。



ICT教育推進リーダーの高村先生

## POINT ② 市内小中学校に統一した指導方針 意欲の向上に重点

大事にしてきた子どもとの信頼関係の構築や個に応じた支援を土台に、「もっとみんなとがんばりたい！もっと知りたい！学びたい！」と子どもたちが主体的に取り組めるようサポートします。キャリア教育や魅力ある学校づくりを進めて子どもたちの意欲の向上をめざします（本紙7ページ参照）。



▲イメージポスター

## キャリア教育「自らの生き方を考え、主体的に進路を切り開く」

キャリア教育とは、社会的・職業的自立に向け、**社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するための力を身に付ける**ことを目的としたものです。中学3年生の進路選択もキャリア教育の一部です。

進路の選択肢を広げるため、第一中学校では、1年生で、小売業、銀行員など、さまざまな職種の人から話を聞き、2年生では、職種体験として、社内で想定されるさまざまな仕事を実際に体験しています。

職種体験とは、第一中学校から始まり、今年度は全中学校で実施している取り組みです。**企業から与**



職種体験結果報告会

**えられた企業の抱える課題を、生徒たちの視点で解決に向け考え、企業に向けてプレゼン発表する、本市独自の取り組みです。**



キャリア教育担当の加川先生

また、キャリア教育は、実際の仕事を知るだけでなく、仕事につながる能力を養うことが重要です。そのため、**各教科の授業内でも、単元によっては主体的に必要な情報を収集したり、得た知識を発表するなどキャリア教育を意識した授業**を行っています。タブレットの導入は、調べ学習や発表ツールとして役立っています。

子どもたちには進路選択に向け、さまざまな職種を知り、選択の幅を広げてほしいと思います。

## 児童会・生徒会「自分たちで取り組みを決め、より良い学校に」

別府小学校の児童会では、毎年5・6年生の代表委員が**学校全体の目標を決め**ており、目標を達成するために、子どもたちがさまざまな活動に取り組んでいます。

今年度は、目標を具体的に実行し、学校をアップデートするという意味の**「アプデ隊」を立ち上げました**。1～6年生の100人以上が自主的にメンバーになり、「あいさつ」「自主学習」「情報モラル」をテーマに活動しています。



朝のあいさつ活動

登校の時間に正門前に集まり、登校してきた人にあいさつをしたり、自主学習の効率的な方法を話し合い、

みんなで共有したりするほか、タブレットの使用状況についてアンケートを行い、現状把握や使用ルールを考えたりと、**子どもたちはそれぞれ「学校を良くしたい」という目標をもって取り組んでいます。**



児童会担当の石田先生

このような活動に関して、私たち教員は、一方的に取り組みを決め、子どもたちに押し付けるのではなく、**子どもたちが自分たちで取り組みを決め、学校をより良くしていく**ことができるようサポートできればと考えています。

# すべての意欲の向上に向けたさまざまな取り組み

市内の小中学校の取り組みなどは、YouTubeで動画配信しています。(右記QRから「摂津市教育委員会チャンネル」へ)



## 魅力ある学校づくり「人の喜びが、自分の幸せにつながる」



児童生徒支援加配教員の中野先生

魅力ある学校づくりでは、**「居場所づくり」「絆づくり」をテーマ**としています。

味生小学校では、まわりの人を心地よくする行動を見つけ、ここにこポスト(右写真)に投函すると、良い行動をした友だちや見つけた人に「にっこりメダル」が贈られる取り組みをしています。これは、**「人の喜びが自分の幸せにつながる」**という考えのもと、子どもたちの自己肯定感を育む目的で行っています。

また、「話し合い活動」に重点を置いており、人

の意見を聞き、自分の意見を話すことを大切にしています。どのような場面においても、**自ら課題を見つけ、話し合い、解決する力が必要**だと考えています。そして、先生たちは活動の際、子どもたちへ情報や知識を与えずに、**やりたいことや疑問に思ったことを尊重し、主体的な行動を促す**よう心がけています。

このような取り組みを通して「みんなが教室にいたい」と思う学校づくりができればと思います。そして、子どもたちだけでなく校区全体が、幸せを感じることのできる文化が地域に根付いていけばと考えています。



にっこりポスト

## 学校行事「集団の中で、自ら考え、行動を」



音楽教員の錦織先生(左)と代表クラスを担当する中野先生(右)

**学校行事は普段の授業では学ぶことができないことを学ぶチャンス**です。

例えば、中学校で実施している連合音楽会という行事があります。これは、各学校で代表クラスを決め、その代表が他の学校の生徒の前で歌声を披露するという行事です。

この代表に選ばれるため、**生徒はみんなで同じ目標に向かって**、生徒同士で練習方法などを考えます。取り組みの中で、生徒同士の想いが通い合わず、さ

まざまな壁に直面することもあります。私たち教員は、生徒同士で**問題を解決できるようにサポート**することを心がけています。自分たちで考え、クラス全員で行事を作り上げることが大切だと考えているためです。

**大人になるにつれて、自ら考え責任をもって行動**しないとけません。学校行事は「集団の中で、自らの役割を考えて行動する」ということを学べる大切な機会です。



連合音楽会の練習  
連合音楽会当日

令和3年度  
摂津市教育フォーラム

市の取り組みなどの報告と講演会

日時 1月22日(土)午後2時～4時  
(受け付けは午後1時半から)

会場 コミュニティプラザ・コンベンションホール

報告 ▼市教育委員会 河平浩一 教育総務部参事兼学校教育課長  
▼別府小学校 田中健一郎 校長

講演 ▼第一中学校 川西満校長  
府教育庁 榎田千佳市町村教育室長「大阪府の教育がめざすもの」

定員 200人

申込み 左記QRへ

問合せ 教育センター ☎072(957)0711へ

※一時保育あり(1歳半以上の幼児・18日(火)までに要予約)

※手話通訳あり



### ● 実用英語技能検定 検定料が無料

中学3年生の学習意欲向上や学力を保障するため、検定料を市が全額負担します。

検定級は、中学校卒業程度の3級を基本とし、希望者は他の級を受験することも可能です。

教育現場について詳しく知りたい人はチェック!

### ● 摂津SUN SUN塾

小学校6年生から中学校3年生までを対象に、市内全中学校区にある会場で実施している国語と算数・数学を無料で学べる講座です。既習事項の復習を中心に行い、学力保障、進路保障を目的に実施しています。

夏期講習も含めると、年間260人を超える生徒が受講しています。

職種によっては現在も募集中です。お問い合わせは学校教育課まで。

- ▼ 学校活動支援員
- ▼ 障害児等支援員
- ▼ 部活動指導員
- ▼ 部活動補助員
- ▼ 学習サポーター
- ▼ 学校読書活動推進支援員
- ▼ スクールサポーター
- ▼ SSW(スクールソーシャルワーカー)
- ▼ SC(スクールカウンセラー)

### ● 学校支援

学校現場では、教職員以外のさまざまな人たちが、子どもたちをサポートしています。